



多摩区制50周年記念防災講演会

これからの活力があるまちづくりに向け、地域の人と人との結びつきの重要性を再認識し、災害時における自助・共助の力を高めることを目的とした講演会をオンライン併用で開催しました。講演会のほか、防災を啓発するパネル展示も開催しました。

開催日 令和5年1月29日(日) 10時30分~12時00分

会場 多摩区総合庁舎11階会議室

来場者 会場: 81人 オンライン: 27人



第1部 特別講演

テーマ 「コミュニティこそがライフライン」

～災害からあなたを、家族を、地域を守るために「今」すべきことをお伝えします～

講師 大西 賞典 氏(地域防災研究所所長、加古川グリーンシティ防災会特別顧問)

阪神淡路大震災以降、地域防災活動を長年実践し、その結果得られた考え方を楽しい語り口でお話しいただきました。「防災とは自分の大切な人を守ること」、「何でも防災にからめ楽しく防災」、「地域との関わりが家族を守る」、「何より日々の挨拶が大切」、「一人の英雄より、キチンとこなせる多くの人」、「お互い様の心」、「完べきではないチームを目指そう」といった言葉で、コミュニティの大切さを伝え、参加者に防災への意識改革をもたらすような講演でした。



第2部 地域における活動紹介



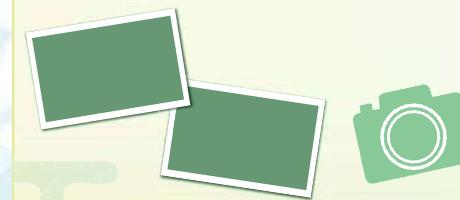
生田中学校避難所運営
会議における活動内容
を、「防災へ心をこめて」と
題して寺澤由美委員長に
紹介いただきました。



専修大学のボランティ
アサークル「SIV」(専修生
田ボランティア)の活動内
容を、近藤良羽代表、山口
凜副代表、佐藤龍一副代
表に紹介していただきました。

パネル展示の様子

昭和30年代の狩野川台風や伊勢湾台風による川の氾濫、街の冠水の様子等を写した貴重な写真(稲田郷土史会提供)、また、令和元年東日本台風襲来当時の避難所の写真等で、多摩区における過去の災害を振り返るとともに、自主防災組織の活動紹介や避難所持出品等について啓発するパネル展示を行いました。



多摩区の魅力写真集



多摩区制50周年を祝し、公募で区民の皆様から提供いただいた写真を中心に、多摩区の歴史や魅力を表す写真を紹介します。



向ヶ丘遊園と多摩丘陵(昭和54年)



桙形山の花見(昭和53年)
※稲田郷土史会提供



向ヶ丘遊園モノレール(平成13年)
※小田急電鉄提供



向ヶ丘遊園ラストセレモニー(平成14年)
※稲田郷土史会提供



登戸・稻荷社祭礼(昭和62年)
※稲田郷土史会提供



旧生田出張所(昭和49年)
※稲田郷土史会提供



JR 登戸駅(平成11年)
※稲田郷土史会提供



多摩区総合庁舎落成記念式典(平成9年)
※稲田郷土史会提供



「菅の渡し」廃止式典(昭和48年)
※稲田郷土史会提供



長沢諏訪社の祭礼(昭和49年)
※稲田郷土史会提供



多摩川上河原堰、三沢川水門工事
(昭和49年)※稲田郷土史会提供



中野島駅周辺の梨の花畠
(昭和60年)※稲田郷土史会提供



生田緑地噴水広場(昭和56年頃)



菅の薬師堂(昭和55年)
※稲田郷土史会提供



向ヶ丘遊園(平成14年)

